

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	ウカ類 ツマグロヨコバイ	250～500倍	育苗箱（30×60×3cm、 使用土壌約5L）1箱当り0.5L	移植2日前～移植当日	1回	灌注	3回以内（但し、移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
	イネミズゾウムシ イネトオムシ	250～1000倍					
小麦	アブラムシ類	15000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、種子粉衣は1回以内、散布は2回以内）
かんしょ		10000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで			3回以内（但し、植付前の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
こんにゃく				収穫21日前まで			3回以内（但し、培土時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
さといも		400倍	4～10L/10a	収穫14日前まで			無人航空機による散布

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
さといも	アブラムシ類	200倍	2～4L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布	3回以内（但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内）
		80倍	1.6～2L/10a				
ばれいしょ	アブラムシ類 オニジユウヤホシテントウ	5000～15000倍	100～300L/10a			散布	
		2500倍	25L/10a			無人航空機による散布	
		160倍	1.6～3.2L/10a				
		400倍	3.2～10L/10a				
		80倍	1.6L/10a				
やまのいも	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a			散布	3回以内（但し、植付時までの処理は1回以内、植付後の処理は2回以内）
		160倍	3.2～4L/10a			無人航空機による散布	
		400倍	4～12L/10a				
		10000倍	100～300L/10a				
かぶ		10000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで		散布	3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
かぶ	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
てんさい		5000～10000倍					3回以内（但し、種子への処理又は灌注は1回以内、散布は2回以内）
	アブラムシ類 カメノコハムシ テンサイモグリハナバエ	300倍	ハ°-ハ°-ポット1冊当り1L（3L/m <sup>2</sup> ）	定植時	1回	灌注	
	テンサイトビハムシ	300～500倍					
にんじん	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内
たまねぎ	アザミマ類	5000～10000倍		収穫14日前まで			2回以内（但し、定植時までの処理は1回以内）
		500倍	セル成型育苗トレイ1箱又はハ°-ハ°-ポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	アザミマ類	500倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	2回以内（但し、定植時までの処理は1回以内）
食用ゆり	アブラムシ類	5000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	アザミマ類			収穫14日前まで	2回以内		
	アザミマ類 ネギハモグリバエ	500倍	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60cm、使用土壌約1.5～4L）当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内）
豆類（未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く）	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫前日まで（但し、露地栽培については開花期終了後）	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
未成熟そらまめ	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで （但し、露地栽培については開花期終了後）	3回以内	散布	3回以内（但し、定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内）
きゅうり（施設栽培）	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミマ類	5000～10000倍		収穫前日まで			4回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内）
にがうり（施設栽培）	アザミマ類	10000倍			2回以内		2回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内）
かぼちゃ	アブラムシ類			収穫前日まで（但し、露地栽培については着果後）			3回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	5000～10000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで （但し、露地栽培については着果後）	3回以内	散布	4回以内（但し、定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
メロン	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類						4回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類			収穫前日まで	2回以内		3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類						3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内）

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
なす	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	5000～10000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内）
ピーマン(施設栽培)	アブラムシ類 アザミウマ類						3回以内（但し、育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
とうがらし類				収穫前日まで（但し、露地栽培については開花期終了後）			
なばな類	アブラムシ類	10000倍		収穫7日前まで			2回以内

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数	
キャベツ はくさい	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）	
みつば				収穫7日前まで （但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで）				2回以内
レタス				収穫3日前まで				3回以内（但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
すいぜんじな				収穫7日前まで				2回以内
ほうれんそう				収穫前日まで				3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	アブラムシ類	10000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（但し、は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
アスパラガス	アザミウマ類	5000倍					2回以内
さといも(葉柄)	アブラムシ類	10000倍					3回以内（但し、植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内）
		400倍	4～10L/10a				
		80倍	1.6～2L/10a				
		200倍	2～4L/10a				
みょうが(花穂)	カイガラムシ類	10000倍	100～300L/10a	みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで		散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	2回以内
みょうが(茎葉)						散布	

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
みょうが(茎葉)	カイガラムシ類	10000倍	100～300L/10a	みょうが（花穂）の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで	2回以内	散布	2回以内
みしまさいこ	アブラムシ類			収穫30日前まで	3回以内		3回以内
かんぎつ	アブラムシ類 アカマルカイガラムシ ゴマダラカミクリ成虫 カメムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ミカンハモグリガ コナカイガラムシ類	5000～10000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで（但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
	ミカンジラミ	5000倍					
なし	アブラムシ類 カメムシ類	5000～10000倍		収穫3日前まで（但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	2回以内		2回以内
	コナカイガラムシ類	5000倍					
りんご	アブラムシ類	5000～15000倍					
	カメムシ類 リンゴワタムシ	5000倍					

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
りんご	カメシ類 リンゴワタムシ	5000倍	200～700L/10a	収穫3日前まで （但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	2回以内	散布	2回以内
	キンモンハモグリガ キンモンホソガ	5000～10000倍					
もも	アブラムシ類	5000～10000倍		収穫14日前まで （但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
ネクタリン	カメシ類 モモハモグリガ						
うめ すもも	アブラムシ類	10000倍		収穫21日前まで （但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）			
ぶどう	アザミウマ類 フタテンヒメコバエ	5000～10000倍					
	コナカイガラムシ類	5000倍					
マンゴー	アザミウマ類	5000～10000倍		収穫14日前まで			
アテモヤ	コナカイガラムシ類	10000倍		収穫7日前まで			
パッションフルーツ	アザミウマ類						
かき	カメシ類 アザミウマ類	5000～10000倍		収穫7日前まで（但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	3回以内		3回以内

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

適用害虫と使用方法

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
かき	カメシ類 アザミマ類	5000～10000倍	200～700L/10a	収穫7日前まで （但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	3回以内	散布	3回以内
	コナカイガラムシ類	5000倍					
きく（施設栽培）	アザミマ類	5000倍	100～300L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
げっきつ	ミカンジラミ		200～700L/10a	発生初期（但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く）	4回以内		4回以内

# アドマイヤー顆粒水和剤（イミダクロプリド水和剤）

2021年9月28日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミダクロプリドを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	ウカ類	種もみ3kg当り30～40g（40g/10aまで）	は種前	1回	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣	3回以内（但し、は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
乾田直播水稻		種もみ4～8kg当り30～40g（40g/10aまで）			種子塗沫（未催芽籾）	